

2016-B

VI49-B

拠出金・基金
の名称

国際農業研究機関拠出金/国際水管理研究所(IWMI)拠出金

種 別

☒イヤマークのみ ☐一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国際農業研究協議グループ(CGIAR)/国際水管理研究所(IWMI)

【所管官庁担当局課・室名】

農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ/農村振興局設計課

【当該任意拠出金の目的・用途等】

気候変動に伴って増加することが懸念される水関連災害(洪水や干ばつなど)に対して脆弱なアジア地域において、洪水や干ばつに適応した水管理技術および灌漑技術の開発に係る支援を行うため、次の事項を実施する。

1 早期警報システムや洪水保険スキームの構築に資することを目的に、衛星から得られた地球観測データ等を活用した、洪水および干ばつの頻度や被害範囲、農業生産の損失や人的被害を分析する手法の開発。

2 洪水が頻発している流域を対象に、衛星観測によるリアルタイム降水量データを活用した洪水予測モデルの適用手法の開発とともに、貯水池や洪水地下貯留の設置による洪水緩和機能および干ばつ時の灌漑用水供給能力を評価する手法の提案。

3 研究成果のインターネット等での公開とともに、現地への普及のため、政府機関や国際支援機関の職員を対象にした研修やワークショップの実施。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成28年度	27,306	228	-	1米ドル=120円	100%
平成27年度	25,030	253	-	1米ドル=110円	100%
平成26年度	24,523	292	-	1米ドル= 97円	100%

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

IWMIは、発展途上地域における農業用水の管理改善や食糧安全保障の増進などへの貢献によって、2012年にストックホルム水大賞を受賞した。現在、IWMI職員がICID理事やストックホルム世界水週間の科学プログラム実行委員を担当している。また、世界水会議やラムサール条約のパートナーとしての国際的活動を通して、「water-secure world(水供給が保障された世界)」を目指した研究の成果を発信している。このように、IWMIは水分野における国際的な専門研究機関として、重要な役割を果たしている。我が国の拠出金は、気候変動による洪水や干ばつに適応した水管理技術および灌漑技術の開発に向けられており、平成28年度は洪水モデルによる早期警報システムの開発や衛星画像を用いた広域干ばつモニタリングシステムの運用、洪水や干ばつによる被害予測や水管理改善の提案に関する研究を実施している。

【備考】